

令和5年度

第17回 北海道特別支援教育学会

函館大会

『 特別支援教育は誰のため? 』

～子どもの見取りと支援～

期日：令和5年9月16日(土)～17日(日)

会場：北海道教育大学函館校 (函館市八幡町1-2)

主催：北海道特別支援教育学会

共催：北海道教育大学

北海道特別支援教育学会道南支部

後援
(予定)

北海道教育委員会、札幌市教育委員会、北海道特別支援学校長会、北海道特別支援学級設置学校長協会、北海道言語障害児教育研究協議会、北海道情緒障害教育研究会、北海道児童青年精神保健学会、北海道乳幼児療育研究会・北海道臨床心理士会、日本臨床発達心理士会北海道支部、北海道心理・教育アセスメント研究会・渡島特別支援教育研究会・函館市特別支援教育研究会

3年以上にもわたるパンデミックは、ようやくその出口が見えてきたようです。本学会はこの間、オンラインのみ、また対面とオンラインの併用という形で、常になんらかの制限を強いられた活動をしてきました。しかしながら、今年度は函館の地で従来通りの対面の形で開催することといたしました。もちろん、開催時期の状況に合わせて感染対策等には柔軟に対応してまいります。このパンデミックによって新しい生活様式を求められてきた期間、特別なニーズのある子どもたちはどのような生活を送って来たのでしょうか。われわれは今、改めてかれらの目線で特別支援教育を見直す時期を迎えております。本大会が貴重な意見交換や、新たな視点を学ぶ機会となることを期待しております。 北海道特別支援教育学会 会長 萩原 拓

■大会1日目 9/16 (土)

11:30	12:30	13:30	15:00	15:15	16:45
受付		基調講演 講師 佐藤晋治 氏 (大分大学大学院教育学研究科 教授)	休憩	大会企画 シンポジウム①, ②	
理事会	総会				

■大会2日目 9/17 (日)

8:30	9:00	10:30	10:45	11:45	13:00	14:30
受付	自主シンポジウム ①～④		休憩	ポスター発表	休憩	自主シンポジウム ⑤～⑧

1. プログラム

■大会1日目 9/16 (土)

●●●基調講演 13:30~15:00

『特別支援教育は誰のため？～子どもの見取りと支援～』

(御所属 大分大学大学院教育学研究科 副研究科長)

佐藤 晋治 氏

【主な著書／論文】

1. 『インクルーシブ教育時代の教員養成と現職教員の資質・能力向上への支援―異なる立場の学び合いや省察が資質・能力向上に及ぼす影響―』, 共著, 2022 年
2. 『個々の学び方の「見取り」を踏まえた支援』, 単著, 2018 年
3. 『熊本・大分地震における大分県臨床心理士会としての取り組み―平時からの準備, そしてソーシャルサポーター』, 単著, 2018 年
4. 『教育臨床の実際第2版: 学校で行う心と発達へのトータルサポート』, ナカニシヤ出版, 共著, 2018 年
5. 『インクルーシブ教育ってどんな教育?』, 学事出版, 共著, 2016 年

※基調講演のみ参加を希望される方は、無料で参加いただけますので、受付までお越しください

●●●大会企画シンポジウム①..... 15:15~16:45

『通常の学級の子どもへの学習支援』

通常の学級で著しい学習困難を抱える児童生徒は、文部科学省の調査(2022 年)によると、小中学校で 6.5%と推定されている。一方、同調査では、著しい困難のある子どもに対し、「校内委員会で特別な教育的支援が必要と判断されていない」割合が 70%を超え、十分に支援できていない現状がある。そこで、通常の学級での学習支援について、全体への配慮と個別最適な学びを中心に、通常の学級と通級指導教室の視点から検討していきたい。

企 画 者	函館大会実行委員会
司 会	山下 公司(北海道教育大学札幌校)
話題提供者	藤原 友和(函館市立万年橋小学校)
	村井めぐみ(札幌市立幌北小学校)
	川合 理恵(市立札幌大通高等学校)
指定討論者	村田 敏彰(北海道文教大学)

●●●大会企画シンポジウム②……………15:15～16:45

「特別支援教育 Co.の役割と子どもへの支援」

各学校には特別な教育的ニーズのある児童生徒が一定の割合で在籍しており、教員個人が対応するのではなく、学校としてまた地域でニーズのある児童生徒への対応が求められている。このような取組みを推進していく役割を担うのが「特別支援教育コーディネーター」である。では、実際の特別支援教育コーディネーターは、どのような役割を担っているのか、またどのような事に悩みを抱えているのかについて、事例を通してその在り方を考えてみたい。

企 画 者	函館大会実行委員会
司 会	岩田 満（北海道教育大学附属特別支援学校）
話題提供者	小野 真理（北海道教育大学附属特別支援学校） 石井 美紀（函館市立赤川中学校） 渋谷 篤憲（今金町教育委員会）
助 言 者	田中 雅子（北海道教育大学釧路校）

■大会2日目 9/17（日）

- 自主シンポジウム①②③④ ……………9:00～10:30
- ポスター発表 ……………10:45～11:45
- 自主シンポジウム⑤⑥⑦⑧ ……………11:30～13:00

2. 発表の申し込みについて

函館大会では、自主シンポジウム及びポスター発表のみ行います。発表をご希望される方は、発表申込 QR コードにてお申し込みください。多くの方の発表をお待ちしております。なお、自主シンポジウムにおいて、同一発表者の発表は2題までとします。

<参加申込み URL : <https://forms.gle/Bz1XoDN81o47sJ2d7>>

申込の締め切りは、令和5年7月31日(木)〆切厳守とさせていただきます。



3. 大会参加費

■学 会 員 1,000円

■当日会員 2,000円（1日のみの参加）※2日間参加の場合は3,000円

■学生会員 無料

□新規会員（当日入会可） 5,000円（年会費4,000円＋参加費1,000円）

※新規入会の方には2022年度刊行の「北海道特別支援教育研究第16巻第1号」を配布

□基調講演のみの参加 無料（受付は11:30～）

4. 理事会のご案内

9/16(土) 11:30 より理事会(第6 講義室)を開催します。役員の皆様はご出席をお願いいたします。

5. 昼食について

学会2日目(17日)は、大学の食堂及び売店の利用はできません。お弁当をご希望の方は、参加申し込みの際に注文を受け付けております (※切 7月31日)。また、学会期間中は近隣の特別支援学校や福祉施設の販売などを実施しておりますので、ご利用ください。

6. その他

3 年間会費未納の方は、学会除名対象となりますのでご了承ください。なお、所属や住所等の変更がございましたら、速やかに学会事務局までご連絡ください。

7. 交通アクセス(北海道教育大学函館校 HP より抜粋)

■ 函館バス

- ・JR 函館駅ターミナル「函館駅前」から
◇47 系統で約 20 分、「教育大通」下車、徒歩約 5 分
◇82 系統で約 10 分、「宮前町」下車、徒歩約 10 分

■ 車・タクシー

- ・JR 函館駅より車で約 10 分

■ 函館市電

- ・「函館駅前」から約 10 分、「五稜郭公園前」下車、徒歩約 15 分



8. お問い合わせ

■ 北海道特別支援教育学会 事務局

〒002-8501

札幌市北区あいの里5条3丁目1-3

北海道教育大学札幌校特別支援教育専攻

齊藤真善(事務局長)

Tel/Fax: 011-778-0662

E-mail: hkd-asne@sap.hokkyodai.ac.jp

□ 第17回北海道特別支援教育学会 函館大会事務局

〒040-8567

函館市八幡町1-2

北海道教育大学函館校地域教育専攻

細谷一博(大会事務局)

Tel/Fax: 0138-44-4279

E-mail: hosoya.kazuhiro@h.hokkyodai.ac.jp